

文化の森情報提供システム統合検索 機能要件確認表(別紙1)

1. システム全般

No.	機能名	機能概要
1	全体要件	文化の森各館の収蔵している資料データベースや資料の解説、デジタルアーカイブなどを横断的に検索できること。
2	全体要件(検索)	対象とするデータベース(仕様書のデータベース一覧を参照)について検索できること。
3	全体要件(検索)	検索画面で検索し、各データベースから返ってきた検索結果を一覧表示できること。
4	全体要件(検索)	検索画面は1画面とすること。トップ画面は簡易検索とし、「詳細検索」ボタンをクリックすることで、画面遷移することなく詳細検索に切り替えができること。
5	全体要件(検索)	所蔵情報等のほか、イベント情報なども検索・表示できること。
6	全体要件(公開)	目録データに対応するデジタルコンテンツが存在する場合には、検索結果一覧及び詳細画面にデジタルコンテンツへのリンクを表示し、当該リンクからデジタルコンテンツを閲覧可能とする。
7	全体要件(公開)	スマートフォン・タブレットに対応したユーザーインターフェースを用意すること。
8	全体要件(管理)	ユーザ操作ログを収集でき、不正利用を抑止する効果と、万一の事故発生時の原因特定ができること。
9	操作環境	文字コードはUNICODE(UTF-8mb4)であること。
10	操作環境	検索文字として使用できる文字種は、特段の理由がない限り制限を設けないこと。 ①漢字、②ひらがな、③カタカナ、④英数字 また、書誌等の記述に使用されている漢字の旧字体・俗字、アラビア文字、古字、略字、別字にも対応していること。
11	操作環境	利用者のユーザビリティに配慮し、視覚的に分かりやすいシステムであること。 ①主要操作は、キーボードで簡単に操作できること。また、マウスでも操作ができること。 ②ボタン、ハイパーリンク等は、クリック等で動作することが明確に分かること。 ③注意を表す項目は強調表示すること。 ④一覧の各項目ごとの並び替えができること。 ⑤オンラインヘルプがあること。
12	操作環境	入力項目について ①検索結果に含まれる検索語を強調表示できること。 ②エラー項目は、強調表示やガイダンスで示すなど分かりやすくすること。 ③項目属性に応じた入力モードの切り替え(漢字や英数字など)ができること。 ④コード情報項目は、コード値の直接入力と、一覧から選択入力もできること。
13	操作環境	検索結果一覧をCSV出力できること。

2. 検索機能1(簡易検索)

No.	機能名	機能概要
1	簡易検索	検索窓を一つ設けること。
2	簡易検索	検索語を複数入力して、間にスペースを挟むことでアンド検索ができること。
3	簡易検索	検索語が1文字の場合は、完全一致検索とし、該当する資料がない場合は、2文字以上の入力を促す表示を行うこと。
4	簡易検索	検索対象とする各館データベース(図書館・近代美術館・博物館・鳥居龍蔵記念博物館、文書館、二十一世紀館、デジタルアーカイブ(ADEAC))を選択できること。
5	簡易検索	以下のコードで検索ができること。 ①ISBN10桁 ②ISBN13桁 ③雑誌JANコード・ISSN ④資料コード(各館で独自に定める、資料につける資料番号)
6	簡易検索	イベント情報も検索できること。

3. 検索機能2(詳細検索)

No.	機能名	機能概要
1	詳細検索	簡易検索の検索窓の下に、折りたたんだ各データベースのチェックボックスを設けること。
2	詳細検索	検索項目を2つ以上設定できること。検索項目を2つ以上設定できない場合は、チェックボックスで絞り込みができること。
3	詳細検索	検索項目の組み合わせをかせられること。
4	詳細検索	前方一致・中間一致・後方一致・完全一致ができること。
5	詳細検索	複数の検索窓を使用すれば、1文字から検索できること。
6	詳細検索	完全一致の場合、1文字から検索できること。
7	詳細検索	複数の検索窓を組み合わせ、AND、OR、NOT検索ができること。
8	詳細検索	入力した検索条件をワンクリックでクリアできるボタンを設けること。
9	詳細検索	濁点、半濁点、長音符、その他記号については、付けても付けなくても同じ検索結果が得られること。
10	詳細検索	以下のコードで検索ができること。 ①ISBN10桁 ②ISBN13桁 ③雑誌JANコード・ISSN ④資料コード(各館で独自に定める、資料につける資料番号)
11	詳細検索	外国人名を検索するときに、姓名、名姓のどちらからでも気にすることなく検索ができること。
12	詳細検索	対象とする「資料区分」で検索できること。また、新たに職員が設定できること。 資料区分は各館別に以下に「」書きで示す。 【図書館】 ①所蔵データベース→「図書」「洋書」「雑誌」「洋雑誌」「デージー」「Mデージー」「視聴覚」「カセット」「CD」「ビデオ」「紙芝居」「和綴」「点字」「電子資料」「CDR」「DVDR」「その他」 ②レファレンス事例データベース→「レファレンス事例」「郷土レファレンス事例」 【近代美術館】 ①作家データベース→「作家紹介情報」 ②作品データベース→「油彩画他」「日本画」「彫刻・立体」「版画」「水彩」「素描」「写真」「ビデオアート」「二次資料」「その他」 ③美術用語データベース→「美術用語詳細情報」 ④展覧会データベース→「出展テーマ詳細情報」 ⑤図書検索→「美術館和書」「美術館洋書」 【博物館】 ①人文資料データベース→「考古」「歴史」「民俗」「美術工芸」「絵画」「書跡」「工芸・彫刻」 ②地学資料データベース→「岩石・鉱物」「化石」 ③植物資料データベース→「植物」 ④動物資料データベース→「昆虫」「魚類」「軟体動物」「両生類・爬虫類」「節足動物」「鳥類」「その他無脊椎動物」「哺乳類」 ⑤図書検索→「博物館図書」 ⑥新聞記事データベース「博物館新聞記事」 【鳥居龍蔵記念博物館】 ①館蔵資料データベース→「原稿」「書籍・雑誌」「新聞」「メモ・ノート」「拓本」「写真」「書簡」「はがき」「絵はがき」「地図」「図」「絵画」「名刺」「文書」「土製品・焼物」「瓦」「石製品・石造物」「金属製品・金工品」「木・竹製品」「骨角・貝製品」「漆器」「民族資料」「その他」 【文書館】 ①古文書検索→「公文書」「行政資料」 ②公文書・行政資料検索→「公文書」「行政資料」「電子公文書」「デジタルデータ」 ③図書資料検索→「公文書」「行政資料」 【二十一世紀館】 ①文化の森イベント情報データベース→「イベント情報」 【デジタルアーカイブ(ADEAC)】 ①とくしまデジタルアーカイブ→「タイトル」「人物・団体」「形状・材質」「地域・場所」「番号」「主題・内容」「その他」

4. 検索結果一覧表示機能

No.	機能名	機能概要
1	一覧表示	検索結果一覧を表示できること。一覧には、ヒットした資料の「所蔵館」、「資料区分」、「資料名」を表示すること。
2	一覧表示	検索結果一覧に表示された「所蔵館」、「資料区分」、「資料名」をクリックすると、各館データベースの目録詳細画面にリンク(移動)すること。
3	一覧表示	ファセット検索ができること。検索項目は「所蔵館」、「資料区分」とする。
4	一覧表示	ページネーション機能(検索結果が多数の場合、複数のページに分けて表示すること)が使えること。1ページあたりの表示件数は標準で10件とし、検索結果がそれより多い場合は複数のページに分けて表示すること。また、ページ移動はスムーズに行えること。
5	一覧表示	1ページあたりの表示件数を複数の選択肢(10件、25件、50件、100件)から選択できること。